

# テコンドーの魅力を発信！

テコンドー指導者  
松友省三さん



愛媛県松山市

出会い  
求めて

松友道場の皆さん。前列中央が松友さん



松友さんの横蹴り

壁に、胸下の高さで水平に取り付けたバーに足を乗せた体勢のまま、わ

除き、教え子をケガから守りたいという松友さんの思いが、この練習スタイルを生んだ。

松山総合公園(松山市)の南生、石町の細い路地が入り組んだ住宅街にある松友道場。「ハナッ、トゥル、セッ」。リズムミカルな韓国語の掛け声と、小学生のにぎやかな笑い声が響く。「ダイナミックな技に憧れて、習い始める子供が多いんですよ」。日本国際テコンドー協会の師範、松友道場代表の松友省三さん(50)は笑顔で話す。

テコンドーは韓国の国技で、足技を中心にした武道。垂直に振り上げた足を相手の頭上から打ち下ろす「かかと落とし」や、空中で回転しながら繰り出す飛び蹴りなど、見る者を魅了する。日本でも、礼に始まり礼に終わる武道精神を学ぶ場として、護身術として、あるいは健康増進やエクササイズとして、男女を問わず幅広い年齢に人気が広まっている。

◆◆◆  
動きの激しさから、練習はさぞ厳しいだろうと想像していたが、意外にもストレッチに多くの時間が充てられていた。技の習得に柔軟性が不可欠という理由に加え、体の不調を取り除き、教え子をケガから守りたいという松友さんの思いが、この練習スタイルを生んだ。



ダイナミックな飛び蹴り